

平成28年6月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

## 平成28年6月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者			質問方式	
6月14日(火)	10:00～	個人	1	田中 豊	一問一答	
	10:45～		2	木曾 利廣	一問一答	
	11:30～		3	富谷加都子	一問一答	
	休憩					
	13:30～		4	菱田 光紀	一括	
	14:15～		5	馬場 隆	一問一答	
	休憩					
	15:15～		6	明田 昭	一問一答	
16:00～	7	藤本 弘	一問一答			
6月15日(水)	10:00～	個人	8	齊藤 一義	一問一答	
	10:45～		9	並河 愛子	一問一答	
	11:30～		10	竹田 幸生	一問一答	
	休憩					
	13:30～		11	山本由美子	一問一答	
	14:15～		12	奥村 泰幸	一括	
	15:00～		13	三上 泉	一問一答	
6月16日(木)	10:00～	個人	14	平本 英久	一問一答	
	10:45～		15	石野 善司	一問一答	
	11:30～		16	奥野 正三	一問一答	
	休憩					
	13:30～		17	小川 克己	一括	
	14:15～		18	酒井安紀子	一問一答	

### 【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。



		<p>2 京都スタジアム（仮称）建設について</p>	<p>下流域（嵐山地区～淀川合流点までの区間）における3つの井堰（6号・4号・1号）の撤去や4地区の河道掘削、大下津地区の引堤、嵐山地区の堆積土砂撤去等であるが、本当に上流部にとって効果があるのか。</p> <p>（3）平成28年5月25日、桂川・支川対策特別委員会の桂川下流域の現地視察の中での質疑で疑問に感じたことだが、桂川の上・下流一体の整備計画について、亀岡市と京都府と国の考えは一致しているのか。</p> <p>（4）本市の逆流対策は、最終的に霞堤を締めることと考えるが、どうか。</p> <p>栗山前市政3期目の選挙公約で進められてきた京都スタジアム（仮称）建設について、5年数カ月間、多くの市民の皆さんや支援団体・用地提供いただいた地権者の皆さん、アユモドキを保全していただいた地元保津町及び関係団体の皆さんに今になって、なぜ現在の場所を変更しなければならないのかを説明する必要があるのではないかと、そして市議会にもさらに詳しく説明すべきと考える。</p> <p>（1）環境保全専門家会議の座長提言はあったが、京都府から亀岡市に考えは示されたのか。</p> <p>（2）環境保全専門家会議は、今の場所ではだめだとして結論を出されていないのではないかと。</p> <p>（3）長年にわたって議論してきた重要課題をしっかり議論して、市民の皆さんに亀岡市は情報を提供して説明する責任があるかと考えるが、どうか。</p> <p>（4）スタジアムに関係する予算を含む、議会で議決した内容についても、場所変更するとしたなら市民・議会に精査して説明する責任があるかと考えるが、どうか。</p> <p>（5）提言の中身でアユモドキに影響しない場所を示すなら、現在の場所（曾我谷川左岸）がレッドゾーンとするなら亀岡駅北土地区画整理事業地（曾我谷川右岸）はイエローゾーンになるのではないかと。</p> <p>（6）京都スタジアム（仮称）建設は京都府の事業であるとする、場所の決定の時は、桂川の治水、亀岡市の上水の水源地、天然記念物アユモドキの生息地であることは理解され、用地決定されたものかと考えるが、どうか。</p> <p>（7）現在の予定地で、最近用地交渉が成立した場所はあるのか。また、残りの地権者との交渉は今後どのようにされるのか。</p> <p>（8）京都府の決定を受けて、亀岡市も賃貸から用地取得へと前進させ、地権者の皆さんのご理解とアユモドキと共生できるサンクチュアリを設けて、さらに公園の要件（建ぺい率）変更を含めて、議会の議決をして進めたのでは、と考えるが、今なぜ用地変更なのか。</p> <p>（9）変更予定地の亀岡駅北土地区画整理事業地は、裁判での係争事案を抱えているが、問題はないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	----------------------------	--	--------------------

			<p>(10) 以上の観点から、時間をかけて問題点を議論し、整理して市民理解を得て進められてはと考えるが、どうか。</p> <p>(11) 最後に、今回の座長提言を受けて事業主体の京都府の決定を受けてから判断して、急がずに十分な議論をされてはと考える。京都府にとっても亀岡市にとっても、また文化庁にとっても、市民の理解も得て、長年の治水対策において一番いい結論、策を考えてはと考えるが、どうか。</p>	
3	<p>富谷加都子 6月14日(火) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡市消費生活センターの役割について</p>	<p>近年、ネット社会の情報化、グローバル化が進み、生活環境も複雑になり、消費者トラブル被害が増加している。消費者安全法施行により亀岡市消費生活センターが条例設置された。消費者行政の基盤強化と受け止め、今後さらに市民の消費生活安定向上に寄与されることを期待する。本市の現状や課題、今後の展望を問う。</p> <p>(1) 消費者トラブルの相談件数とその内容、わかれば直近の相談者の年代別内訳は。</p> <p>(2) 消費生活センターの場所がわかりにくいとの声を聞くが、案内掲示や看板設置の配慮は。</p> <p>(3) 消費者被害防止のため、消費者教育の充実が課題である。消費者教育の推進に関する法律の概要は。</p> <p>(4) 学校における消費者教育の現状と取り組みは。</p> <p>(5) 地域における消費者教育の現状と取り組みは。</p> <p>(6) 京都府消費者教育推進計画策定について、今後の課題と所見は。</p>	所管部長
		<p>2 「かかりつけ薬局」について</p>	<p>国は、患者が飲む薬の情報を一元管理する「かかりつけ薬局」の普及を推進している。これは、地域包括ケアシステム構築のための役割も備えていると考える。本市における所見を問う。</p> <p>(1) かかりつけ医の役割の所見と本市における必要性の啓発や具体的な取り組みは。</p> <p>(2) かかりつけ薬局の必要性、ニーズをどのように考えているのか。</p> <p>(3) 地域包括ケアシステムにおいて、かかりつけ医の役割をどのように捉えているのか。</p>	所管部長
		<p>3 食品ロス削減について</p>	<p>世界では、9人に1人が栄養不足に陥っている。日本では、年間2801万トンの食品廃棄物が発生しており、このうち4割近い642万トンが食品ロスと推計されている。食品ロス削減について所見を問う。</p> <p>(1) 食品ロスに対して市の認識は。</p> <p>(2) 各自治体では様々な食品ロス対策が行われているが、本市の取り組みは。</p> <p>(3) ドギーバッグ(持ち帰り容器)利用についての認識は。</p> <p>(4) フードバンク等への寄付の検討はどうか。</p> <p>(5) 食育の観点から、児童生徒への取り組みは。</p>	市長 所管部長

<p>4</p>	<p>菱田 光紀 6月14日(火) 13:30~</p> <p>一括</p>	<p>1 農林業生産高の向上について</p> <p>2 安全安心な自転車通行レーンの確保について</p>	<p>大阪市とほぼ同面積を有する亀岡市の68%は山林であり、耕地面積は10%余りを有する府下有数の農産物供給基地となっている。地域の自給率を高めることがひいては日本の自給力を高めることに繋がると考える。</p> <p>(1) 現在の農産物、林産物の生産高は。</p> <p>(2) Uターン、Iターンが多くあるが、定年帰農の割合は。</p> <p>(3) 定年帰農者による自給的農業、地域文化の継承等地域を担う役割は大きいと思うが、所見は。</p> <p>(4) 新規就農者や定年帰農者による農業生産の底上げにより亀岡の自給率を高めることに繋がられるような施策が必要ではないか。</p> <p>(5) 京都府では、「第3次食育推進計画」を策定し、農業体験などを含めた食育に取り組む等、13の目標を設定している。亀岡市では、更にそれを深める亀岡ならではの取り組みが考えられないか。</p> <p>交通の利便性を高めるとともに環境、健康にやさしい交通手段として自転車がある。一方で自転車に関する事故も多いと聞く。安全安心な自転車運行のため車道に自転車通行レーンやゾーンの設置が求められる。</p> <p>(1) 亀岡市内にこのようなレーンやゾーンはどの程度整備されているのか。</p> <p>(2) 自転車を通学に利用している中・高等学校の周辺に試験的にこのような取り組みを行い、実証実験をしてはどうか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
<p>5</p>	<p>馬場 隆 6月14日(火) 14:15~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 亀岡駅北開発問題について</p>	<p>環境省は、京都府の「南丹都市計画区域区分の変更」について、都市計画法に基づく環境保全の見地からの意見を求められたことから、平成26年1月21日、国土交通省近畿地方整備局長に対し、環境大臣意見を提出した。</p> <p>この意見書は「...アユモドキの保全を含む環境保全措置が最善のものとなるよう、今後の実施計画の策定及び事業実施に当たり...」5項目を「適切に実施する」よう求めていた。この点での事業実施内容と市民への公表を求める。</p> <p>(1) 「専門家会議の意見の実施計画への反映について」どう図られたのか。</p> <p>(2) 「現況の自然環境の保全について」どう図られたのか。</p> <p>(3) 「事業による周辺環境への影響について」 亀岡駅北の地下水脈はどこまで調査・分析されたのか。 地下水脈を寸断しない建築物の構造・設置・施工は可能なのか。</p> <p>(4) この間の、亀岡駅北土地区画整理事業の工事について、事業者の説明し、事業内容に反映させたのか。</p> <p>(5) モニタリングは実施されてきたのか。</p> <p>(6) 水害常襲地の開発は、スタジアム建設以前に止めるべきだが、所見は。</p>	<p>市長</p>

		2 子どもの貧困対策について	<p>子どもの貧困対策は、子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない。（「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第2条）との基本理念に立った、関連分野における本市の総合的取り組みを問う。</p> <p>（1）「子どもの貧困」に対する、市長の思いは。</p> <p>（2）実態の把握について          プライバシーに配慮しつつ、実態把握する必要があるが、考えを問う。          温かい社会環境の中で、子どもの実態をつかむ方法への視点は。</p> <p>（3）（仮称）「健やか子どもみらい課」設置など、子どもの貧困への体制を構築する必要があるが、所見は。</p>	市長 教育長
6	<p>明田 昭 6月14日(火) 15:15～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 まちづくりについて（駅北・駅南城下町地区）</p> <p>2 公共施設について</p>	<p>去る4月27日の全員協議会での説明の後、翌28日の各新聞紙上で報じられたように、環境保全専門家会議が京都府知事と亀岡市長に、京都スタジアム（仮称）の建設予定地を隣接地に変更するよう提言した。このことは亀岡市の今後のまちづくりはもちろんであるが、駅南に位置する城下町地区にとっても大きな影響を与えると考えられ、当面の最大の関心事である。その後の経過についてはメディアや桂川市長のインタビュー発言のみで新しいことは見えてこなかったところであるが、先日6月3日の全員協議会で予定地変更の提言以降の経過が市長から説明された。その内容は、各関係者との協議がこれからであり、検討すべき課題であるとのことである。中でも注目すべきは、仮定のこととしながらも、不足額30億～40億円との数字が出てきていることである。</p> <p>以上のような観点から問う。</p> <p>（1）現時点での市の考え方は。</p> <p>（2）京都スタジアム（仮称）の予定地変更が、駅南城下町地区にどのような影響を与えると考えるか。</p> <p>城下町地区には亀岡市民の利用する多くの公共施設がある。このことは亀岡市の生い立ちから見れば当然のことである。今日まで、利用する人も亀岡地区に住まう人も、駐車場の課題はあるものの、互いに受け入れ、市民理解があった。</p> <p>ところが、亀岡会館・中央公民館・厚生会館・文化資料館等は、経年劣化や耐震強度不足により、文化資料館以外は使用停止となっている。また、医王谷埋立処分場・旧亀岡幼稚園跡地についても利用方法が決まっていない。</p> <p>（1）医王谷埋立処分場跡地の現況と見通しは。</p> <p>（2）旧亀岡幼稚園の跡地の現況と見通しは。</p> <p>（3）亀岡会館の検討状況は。</p> <p>（4）厚生会館の検討状況は。</p>	<p>市長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 にぎわい創出について</p> <p>4 病院事業について</p>	<p>(5) 中央公民館の検討状況は。 (6) 文化資料館の検討状況は。</p> <p>俳優の榎木孝明氏が時代劇の衰退や、技術の劣化は一朝一夕には取り戻せないと、失われつつある日本文化継承のため、時代劇映画の聖地である京都に「時代村」建設の構想を持たれている。 この構想は国を挙げての運動へと呼びかけられているようであり、既にこの運動の拠点となる「時代村」には京丹波町が協力予定のようである。この構想に関連して問う。 (1) 現段階での状況把握はできるのか。 (2) 亀岡市参画の考えは。</p> <p>玉井市立病院長が病院事業管理者職務代理者から病院事業管理者になられたが、亀岡市民の命を守る市立病院の今後について問う。 (1) 新病院長就任以降1年4カ月を経過して、どの程度経営が改善できたか。 (2) 名実ともに経営と医療の最高責任者となられたが、今後の病院運営についての抱負は。</p>	<p>所管部長</p> <p>病院事業管理者</p>
7	<p>藤本 弘 6月14日(火) 16:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 地方創生交付金について</p> <p>2 「森の京都博」について</p> <p>3 出生率の増加について</p>	<p>市区町村に配分される地方創生加速化交付金の都道府県別の平均額について、京都府は5847万円で全国1位と発表された。16広域事業を提案、11事業が採択され、申請額に対する交付額の割合(採択率)も74.7%と全国平均を大きく上回る。府内市町村別にみると、京丹後市が9千万円で1位、採択率71.7%。2位が3市で京都市・長岡京市・南山城村の8千万円。最下位は向日市で0円、0%となっている。 (1) 亀岡市は府下何位で、交付決定額はいくらか。 (2) 亀岡市は何件提案し、何件採択されたのか。 (3) 採択された企画の主な内容は。 (4) 採択率は何%か。</p> <p>4月1日から「海の京都博」に続いて「森の京都博」がスタートした。10月8日には宇治市・山城総合運動公園にて「お手入れ行事」が、10月9日には南丹市の府民の森ひよしで全国育樹祭「式典行事」が行われる。府や府観光連盟から「森の京都博」のガイドブックも発刊されている。 (1) 亀岡市は、府と連携してどのような企画を考えているか。 (2) 「海の京都博」と比較して、少し勢いが足りないように見えるが、亀岡市として広報・宣伝にはどのように取り組んでいるか。</p> <p>厚生労働省の人口動態統計が発表され、2015年の合計特殊出生率が1.46人となり、前年度より0.04ポイント上昇した。京都府の合計特殊出生率は1.26で、5年連続のワースト2位である。 (1) 亀岡市の合計特殊出生率はいくらで、府下では何位か。 (2) 亀岡市の昨年の死亡数から出生数を差し引いた、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>



		<p>4 ファミリーサポートセンター事業について</p>	<p>人口の自然減は何人が。 (3) 今後の対策は、どのように考えるか。</p> <p>地域子ども・子育て支援事業の一つとして、ファミリーサポートセンター事業が実施されている。子育てを地域で相互援助するための調整等を行う組織として、現在は、社会福祉協議会が市の委託を受けて運営されている。</p> <p>(1) 現在における「おねがい会員」と「まかせて会員」の会員数は。 (2) 「まかせて会員」の活動状況、また、実際に活動されている人数は。 (3) 1日の援助依頼はどれ位あり、マッチング数はどれ位か。 (4) 1カ月では、援助依頼がどれ位あり、マッチング数はどれ位か。 (5) 「まかせて会員」になってもらうには、何か条件はあるのか。 (6) 平日の利用料金は、朝の7時から夜の8時までで、1時間700円と聞くが、城陽市では料金は700円で、会員負担が500円、あとの200円は市負担と聞く。亀岡市でも、このような援助をする考えはあるか。 「おねがい会員」と「まかせて会員」の地域が離れると、ガソリン代は「おねがい会員」の負担となる。「まかせて会員」をまんべんなく地域に配置することが望まれるが、この制度はまだまだ知れ渡っておらず、今後の周知とPRが必要である。 (7) 今後、「まかせて会員」を増やしていくためには、市としてどのように考えるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 雑水川拡幅整備事業の早期促進について</p>	<p>進捗状況が、目に見えて進んでいない。</p> <p>(1) 雑水川下流の春日橋、春日小橋の測量は昨年されていたが、改修工事はいつから始まるのか。 (2) 南郷池も雑水川の一部となっているが、堆積土砂の撤去はどのように考えるか。 (3) 雑水川から南郷池へ流入する入り口が狭くなっているために氾濫する。その拡幅整備はいつ頃、どのように行われるのか。 (4) 緑橋から上流の北町橋、さらには上流の拡幅整備は、ここ数年、全く進捗が見られない。いつ頃、整備が行われ、また、いつ頃、完了するのか。 (5) 雑水川拡幅整備事業工事の進捗状況の地元説明は、どのようにしているのか。 (6) 緑橋から上流の市役所へと続く、雑水川護岸を工事と合わせ、フラワーロードとして整備してはどうかと考える。地元要望もあるが、その考えはあるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
8	<p>齊藤 一義 6月15日(水) 10:00~  一問一答</p>	<p>1 企業誘致について</p>	<p>市民福祉、行政サービス向上で「住み続けたいまち」になるには、財政力の脆弱な本市においては税収確保が必要であると考えますが、本市においては、財政力指数も3カ年平均0.580と弱く、特に工業においては、隣接する南丹市と比べて、本市では大企業が少な</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>く中小企業が多い状況と見受けられる。</p> <p>(1)本市と南丹市の工業事業所数は。</p> <p>(2)本市と南丹市の工業生産額は。</p> <p>(3)本市と南丹市の1事業所当たり平均従業員数は。</p> <p>(4)本市と南丹市の工業用地面積は。</p> <p>(5)大企業誘致のためには、用地が重要となるが、京都府との規制見直し等の協議は。</p> <p>(6)本市のトップセールスマンである市長の企業訪問を行う考えは。</p>		
	2 エコトピア亀岡について	<p>平成19年の供用開始から平成33年まで15年間稼働とされているが、財政健全化に向けても、公共施設長寿命化計画に基づき、ごみの減量化に努められ、埋立ごみの最終処分場の延命化が図られている。</p> <p>(1)地元自治会とボタンのかけ違いが続いているようであるが、桂川新市政になって改善されたか。</p>	市長 所管部長	
	3 本市の象徴について	<p>観光客や移住予定者に本市を選んでいただくためにはイメージアップが必要と考える。そこでこの度、日本地質学会が創立125年記念として全国47都道府県の特徴的な石を選定された結果、京都府からは「府の石」として藤田野町の「桜石」が選ばれた。</p> <p>(1)「桜石」を本市の「市の石」としてはどうか。</p> <p>(2)市の花は「つつじ」で、市の木は「さくら」であるが、京都サンガFCのサンガカラーが紫色であり、明智光秀ゆかりの「桔梗」をもう一つの市の花としてはどうか。</p> <p>(3)亀岡と言えばもちろん話題の絶滅危惧種の「アユモドキ」をシンボルとして「市の魚」にしてはどうか。</p>	市長 所管部長	
	4 新国道9号について	<p>南丹管内約13万人の緊急輸送道路の位置付けではあるが、一定の雨量で通行止めになる京都縦貫自動車道やボトルネックの老ノ坂峠、特に一桁国道であるにもかかわらず片側1車線である国道9号の拡幅またはバイパス化が本市の発展のために不可欠であると考える。</p> <p>(1)新国道9号推進協議会を立ち上げてはどうか。</p>	市長 所管部長	
	5 学校規模適正化、公立保育所の配置について	<p>学校規模適正化検討会議で検証・検討されているが、児童生徒数の推移をみて、東・西別院小学校から別院中学校への進学率が非常に低い状況である。また、亀岡市土砂災害ハザードマップで土砂災害警戒区域に立地している別院保育所の危険度を思い質問する。</p> <p>(1)別院中学校の南桑中学校への統廃合の考えは。</p> <p>(2)土砂災害警戒区域は「土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じる恐れがある区域」とされている。この地にある別院保育所の今後の対策は。</p>	市長 教育長 所管部長	
9	並河 愛子 6月15日(水) 10:45~	1 スタジアム建設について	<p>スタジアム建設について4月27日、亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)に係る環境保全専門家会議の座長提言が示された。アユモドキの生息に関わったの問題、水害や財政問題等市民にとっても賛</p>	市長 所管部長

	<p>一問一答</p>	<p>2 生活保護制度について</p> <p>3 就学援助制度について</p> <p>4 子どもの貧困について</p>	<p>否両論ある中、進められてきたが、まちづくりにとっても大きな争点となっている。スタジアム建設について質問する。</p> <p>(1) 京都府と亀岡市が共同設置した環境保全専門家会議が緊急に非公開で開催されたと聞いているが、亀岡市からは誰が出席されたのか。</p> <p>(2) 会議の概要、出された意見、座長提言としてまとめた経緯など、内容を議会や市民に明らかにすべきである。これらについて説明すべきでは。</p> <p>(3) 会議としての総意なら「提言」でよいと思うが、何故「座長提言」なのか。</p> <p>(4) 用地変更に言及した「座長提言」は、会議の目的や権限を逸脱しているのではないか。</p> <p>(5) 市の財政が厳しいとして、一律カットなど市民の暮らしにも影響が出ている。スタジアムの50億円は聖域でなく、財政面からもスタジアム建設計画は白紙に戻すべきと考えるがどうか。</p> <p>生活保護制度が過去3年にわたって改正された。削減された部分もあり、受給者の生活にとって大きな問題である。</p> <p>(1) 生活保護についての基本的な考え方についての所見は。</p> <p>(2) 本市の受給状況はどうか。</p> <p>(3) 主な改正は何か。</p> <p>(4) 関係者への周知はどうか。</p> <p>(5) ケースワーカーの人数は十分か。</p> <p>(6) 月々の明細を明らかにすべきと思うがどうか。</p> <p>義務教育は無償の原則に立って子育て支援をすべきである。</p> <p>(1) 申請状況はどうか。</p> <p>(2) 申請基準を4月、5月も含めて前年度の所得を基準に改善すべきではないか。</p> <p>(3) 就学児童家庭への事前案内をすべきではないか。</p> <p>(4) 入学準備金は入学までに支給するように改善すべきではないか。</p> <p>厚生労働省の調査によれば、1985年に10.9%であった子どもの貧困率は年々増え、2012年には16.3%まで増加し、大きな社会問題となっている。</p> <p>(1) 本市における実態はどうか。</p> <p>(2) 具体的な本市の取り組みはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
10	<p>竹田 幸生 6月15日(水) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 JR千代川駅整備促進について</p> <p>2 千代川町地内交通死亡事故対策</p>	<p>バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地域)に基づき東側広場が整備され、今後、駅利用の利便性向上を図る取り組みが期待されている。利用促進に向けた要望もされ進捗が注視されている。</p> <p>(1) 亀岡市では、バリアフリー化に向けた基本設計の予算が計上されているが、その他、具体的な進捗はあるのか。</p> <p>平成28年5月13日、千代川町の国道9号において交通事故が発生し、尊い人命が失われた。交差点改</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

	<p>について</p> <p>3 プラスチック製容器包装分別回収について</p>	<p>良も含めた事故再発防止に向けた取り組みが必要である。</p> <p>(1) 当該の交差点は通常の交差点と異なっており、思い違いが起こる可能性もあり、関係機関に改良の要望が必要であると考えがどうか。</p> <p>平成26年10月からプラスチック製容器包装の分別回収が実施されている。回収により、焼却炉の熱源としての影響はないか。また、事業効果が増大した場合の方向性はどうか。</p> <p>(1) 分別回収が定着してきているが回収の実績の現状はどうか。</p> <p>(2) プラスチック製容器包装は熱源としてカロリーが高いが、回収に出された量の減少に伴う炉の温度維持に影響はないか。</p> <p>(3) サーマルリサイクル等の考え方からプラスチック製容器包装の分別回収の中止を行う自治体もあるが、どのような事情によるものか。</p> <p>(4) 今後、事業の状況により費用対効果の分岐点になることも考えられるがどのように政策的に対応するのか。</p>	<p>所管部長</p>
	<p>4 保育所保育料滞納処理について</p>	<p>保育所保育料の滞納額が多額になってきており、滞納に対する取り組みも行われているところである。保育所保育料滞納に対して地方自治法等の法律による事務処理を今以上に進める必要があると考える。</p> <p>(1) 滞納額の現状はどうか。</p> <p>(2) 保育所保育料滞納に対してどう処理を行うのか。</p> <p>(3) 時効を迎えた滞納額はいくらか。</p> <p>(4) 不納欠損処理はどのような状況か。</p> <p>(5) 不納欠損処理を行った滞納者に対してペナルティ的なものはあるか。</p>	<p>所管部長</p>
	<p>5 介護保険(予防給付)について</p>	<p>新たな制度に基づく介護予防・日常生活支援総合事業が亀岡市においては、平成29年4月から実施される。実施事業(メニュー)の整備や介護予防ケアマネジメントの要である地域包括支援センターの役割が大きくなる。平成28年の進捗状況を確認する。</p> <p>(1) 既存の介護予防給付に加え、日常生活支援総合事業の受け皿の整備はどのような状況か。</p> <p>(2) 地域包括支援センターの機能の平準化がより求められるがどのように考えるか。</p> <p>(3) 基幹的地域包括支援センターの構築が必要と考えるがどうか。</p>	<p>所管部長</p>
	<p>6 母子保健事業について</p>	<p>6月定例会の補正予算で子育て世代包括支援センター設置に向けた予算が計上されている。子育て支援が充実されることは、大いに賛成するところである。内容は常任委員会で詳細に審査されるが、それに至るまでの内容を確認する。</p> <p>(1) 子ども・子育て支援法に基づく市町村設置でなく、業務委託になった理由は何か。</p> <p>(2) 子育て支援は、本市において重要な市民サービスの一つであるが、なぜ当初予算ではなく補正予</p>	<p>所管部長</p>

		7 千代川小学校学級編成について	<p>算による事業実施になったのか。</p> <p>(3) 関係機関と連携するためのシステムは構築されているのか。</p> <p>千代川小学校は今年度109名の1年生を迎え、児童数は526名となり、児童の増加は大きな喜びとなっている。1年生は4クラスとなったが、4年生が3クラス編成から2クラス編成に変更となり、保護者をはじめ地域の関係者から「なぜ」との疑問の声が聞かれる。経過の確認をする。</p> <p>(1) 京都式教育の少人数指導を行うため京都式少人数による学級編成を解除して2クラスとしたのか。</p> <p>(2) これまで京都式少人数による学級編成を解除して京都式教育の少人数指導とした例はどれぐらいあるのか。</p> <p>(3) 現在の少人数教育の場としている教室の環境は整備されているのか。</p>	教育長 所管部長
11	山本由美子 6月15日(水) 13:30~  一問一答	1 防災減災対策について	<p>熊本地震により、熊本県内の指定避難所が建物の損壊や周辺の土砂崩れなどで被害を受け、閉鎖や一部閉鎖の措置が取られた。また、福祉避難所においても建物の損壊やスタッフの確保ができなかったり、健常者ら一般避難者が殺到したことから福祉避難所の開設を断念したところもある。</p> <p>(1) 学校施設など非構造部材の耐震化の現状と点検状況、耐震化計画は。</p> <p>(2) 災害用マンホールトイレを拡充する考えは。</p> <p>(3) 福祉避難所の指定状況と今後の計画は。(一般の避難所に福祉避難スペースを確保するなども含め)</p> <p>(4) 熊本地震の状況を踏まえて実効性ある福祉避難所の運営に向けての取り組みは。</p> <p>(5) 熊本地震の教訓から学ぶべきことは。(職員の現地派遣等を通じて、本市に生かすべきことなど)</p>	市長 所管部長
		2 認知症対策について	<p>我が国の認知症高齢者の数は、2012年で462万人と推計されており、2025年には約700万人、65歳以上の高齢者の5人に1人に達することが見込まれている。厚生労働省では、団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、昨年1月に「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を策定した。</p> <p>(1) 認知症初期集中支援チームの設置に向けての進捗状況は。</p> <p>(2) 認知症ケアパスの策定状況は。</p> <p>(3) 認知症事前登録制度を生かして、反射材ステッカーなどを導入する考えは。</p> <p>(4) おでかけあんしん見守り隊(事業所)やメールサポーター(個人)を募集し、検索や見守りのネットワークづくりを構築していく考えは。</p>	所管部長

		<p>3 子どもの予防接種について</p> <p>平成28年2月5日に開催された厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会基本方針部会において、B型肝炎ワクチンを平成28年10月から予防接種法に基づく定期接種にすることが了承された。</p> <p>(1) B型肝炎ワクチンの定期接種実施に向けての取り組みは。(周知方法など)</p> <p>(2) B型肝炎ワクチン定期接種の対象から外れる乳幼児にも、経過措置として公費助成を実施する考えは。</p> <p>近年、予防接種の種類が増えたことで、接種時期や間隔が複雑化し、スケジュール調整が難しい。「予防接種ナビ」を導入することにより、スケジュール管理の負担軽減や接種漏れ・接種間違いの防止の一助になると考える。</p> <p>(3) 予防接種に対する問い合わせ状況は。(主な内容、件数など)</p> <p>(4) 予防接種の通知、終了確認、未接種児に対する勧奨方法は。</p> <p>(5) 予防接種の接種率と接種率向上に向けての取り組みは。</p> <p>(6) 流行性疾患情報について情報提供の方法は。</p> <p>(7) 「予防接種ナビ」を導入する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 白地地域の活性化対策について</p> <p>桂川市長が策定された「かめおか・未来・チャレンジビジョン」の中に、白地地域の活性化対策として「空き家が増加しても、新興住宅地区にいつまでも住むことができるよう幹線道路の準市道化を行い、住民の負担減と安心できる住環境の整備を図ります。」と記されている。</p> <p>(1) 準市道認定の基準と取扱いについての考えは。</p> <p>(2) 準市道に関する条例を定めるなど具体化していく時期の目途は。</p>	<p>市長</p>
12	<p>奥村 泰幸 6月15日(水) 14:15~</p> <p>一括</p>	<p>1 投票区・投票所の見直しについて</p> <p>これまで公職選挙法の改正により、期日前投票制度の創設や投票時間の延長など、投票しやすい環境づくりが進められてきたが、本市の投票率は年々低下の傾向にある。その現状を踏まえ質問する。</p> <p>(1) 投票所の設置については、投票所までの距離、1投票所当たりの有権者数など、国の設置基準を参考にしているのか。</p> <p>(2) 国の設置基準から考察して、「投票区・投票所の見直し案」を策定し、投票区・投票所の大幅な見直しを行う必要があると思うが、見解は。</p> <p>(3) 期日前投票の投票所の設置については、1カ所以上とされているが、多くの有権者が期日前投票制度を利用されていることから、期日前投票の投票所を増設してはどうか。</p> <p>(4) 選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立した。今回の参議院議員通常選挙から適用されるが、本市の対象有権者数は。</p> <p>(5) 若年世代の投票率低下が進む中、いかに政治に関心を持ってもらうか。その対策は。</p>	<p>選挙管理委員会 委員長</p>

		2 亀岡市新火葬場整備検討審議会について	<p>亀岡市新火葬場整備検討審議会について質問する。</p> <p>(1) 地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、亀岡市新火葬場整備検討審議会条例を制定して1年半が経過したが、審議会はいまだに設置できていない。なぜ設置できないのか。その経過は。</p>	所管部長
13	<p>三上 泉</p> <p>6月15日(水)</p> <p>15:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)建設とアユモドキの保全について</p> <p>2 学校給食について</p> <p>3 学校規模適正化について</p>	<p>平成28年3月定例会で、市長は、「現予定地での建設が不可能な場合の代替案は考えていない。保全と公園整備の両立は可能である。」と言明したが、その1カ月後の4月27日、環境保全専門家会議座長提言は、実質現予定地での建設は難しいという結論を出した。</p> <p>(1) どの自治体のどんな事業でも、もし無理な場合や不測の事態に備えた対応策を準備するなど、リスクマネジメントを施すのが当たり前であるが、京都スタジアム(仮称)を含む京都・亀岡保津川公園事業については、これらを怠って、税金を投入してきたと言わざるを得ない。市長としてどのような責任を感じているのか。</p> <p>(2) 市長の、議会答弁やこの間のマスコミに対する発言の中に、「スタジアムができなければアユモドキも守れない」というのがある。市民からは「意味がよくわからない」という声をさかんに受ける。これはどういう意味か。</p> <p>(3) スタジアムの有無にかかわらず、アユモドキの保全に力を入れることができないのか。</p> <p>(4) 亀岡市がより注目され、世界から評価と支持・支援をうけるためにも、スタジアムに固執せず、世界から注目されるアユモドキをはじめとする豊かな自然との共生を、亀岡のまちづくりのシンボルにすべきだと考えるが市長の所見は。</p> <p>中学校給食についての検討が始まっていると聞く。学校給食に対する基本的な考え方と、中学校給食の実施に向けての具体的な計画について市長に問う。</p> <p>(1) 学校給食の目的・意義とは何か。</p> <p>(2) 学校給食の目的や意義に照らして、亀岡市で実施している小学校給食と、これから実施を検討していく中学校給食をどのように考えているのか。</p> <p>(3) 中学校給食実施に向けての計画と、現在の検討の到達点を明らかにされたい。</p> <p>教育委員会が基本計画を打ち出し、早速、地域別推進協議会を開催した。基本的な考え方と、小規模校への考え方、大規模過密校対策について問う。</p> <p>(1) 基本的な考え方の「必要性」は、小規模校を対象としたものに限っている。</p> <p>市が人口減少を食い止める目標と計画を掲げるのに、人口減少を前提にしているのは、まちづくりの観点で整合性がないのでは。</p> <p>大規模校の課題解消こそ急務であると考えますが、言及されていないのはなぜか。</p> <p>(2) 小規模校では「子どもの成長に悪影響が及ぶこ</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

			<p>とが心配される」という文言には疑義がある。  議会での教育長答弁、「学校規模の違いによって、学力等の教育効果に大きな差が生じている現状にはないと考えております。」「複式学級の教育効果が劣るといったデータなどはありません」の認識は今もその認識でよいか。  課題があっても、学校や教育委員会の努力で、小規模校でも安心して学べる教育環境を整えると、地域・保護者に伝えて努力するのが教育委員会の責務である。「子どもの成長に悪影響が及ぶ」などは、地域・保護者に不安を煽る、行き過ぎた表現ではないか。</p> <p>(3) アンケート結果を引用したと思われる必要性の理由について  「多い方がよい」という回答を、「改善を求める声」とするのならば飛躍しすぎている解釈だと考えるが所見は。  教育の専門家である教職員の回答などが、提言から方針までの流れにあまり反映されていないのはなぜか。</p> <p>(4) 大規模校の課題の解消に向けての具体的施策が不十分ではないか。  「基本方針」の「適正化の手法」には、大規模校対策として、学校の増改築もうたわれているが、「地域別の規模適正化の方向性」の中では、この選択肢がどこにも書かれていないのはなぜか。  安詳小学校の過密化解消の手法として、なぜ、学校の新設、増改築の選択肢がないのか。</p>	
		4 小・中学校の必要経費について	<p>どこの学校からも、消耗品費が足りない、深刻な事態だという声を聞く。</p> <p>(1) 経費節減をぎりぎりまで努力している学校の現状を認識しているのか。</p> <p>(2) 昨年度に比べて、消耗品費など学校への予算をどのように配分したのか。</p> <p>(3) 望ましい教育環境のために、必要な財政措置が求められるのではないか。</p>	市長 教育長 所管部長
14	平本 英久 6月16日(木) 10:00~  一問一答	1 空き家対策について	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」関連の取り組みについて問う。</p> <p>(1) 空き家の実態把握や地図への落とし込み後の進捗はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 把握した空き家の各担当所管の整理はできているのか。</p> <p>(3) 管理不全と思われる空き家等で、所有者に対して相談対応や指導した実例はあるのか。</p> <p>(4) 空き家等対策計画の作成の進捗はどうなっているのか。</p> <p>(5) 空き家対策に向けて、協議会設立等の進捗はどのようになっているのか。</p> <p>(6) 今後の空き家対策に向けてのタイムスケジュールや、利活用の案はどのように考えているのか。</p>	市長 所管部長
		2 交通安全対策	本市における交通安全対策について問う。	市長



		<p>について</p> <p>3 災害対策について</p> <p>4 安全安心を目指す本市の取り組みについて</p> <p>5 亀岡会館に代わる文化施設について</p>	<p>(1) 市道中矢田篠線の全線開通後の交通量の調査結果は出ているのか。</p> <p>(2) 現時点での市道中矢田篠線の安全対策を講ずべき箇所や課題はあるのか。</p> <p>(3) 中学生の通学路であり高齢者施設もある市道中矢田篠線の篠区間において、安全確保は今後どのように取り組むのか。</p> <p>何時起こるとも限らない地震や風水害等の災害対策について問う。</p> <p>(1) 災害対策を行う上でどこが主たる所管に当たるのか。</p> <p>(2) 災害が起こった場合の職員の対応はどのようになるのか。</p> <p>(3) 災害時には自衛隊、警察や消防等、各組織との連携が重要となるが連携は万全か。</p> <p>(4) 今後、災害対策をさらに拡充するための方策は検討しているのか。</p> <p>本市においての安全・安心のまちづくり実現に向けての取り組みについて問う。</p> <p>(1) 各地域での防犯街路灯の増設は進んでいるのか。</p> <p>(2) 今後、更なる防犯街路灯の充実に向けてどのように取り組むのか。</p> <p>(3) 防犯カメラ設置についての今後の取り組み状況は。</p> <p>使用できない亀岡会館に代わる交響ホールの必要性について問う。</p> <p>(1) ガレリアかめおかにおいて、仮設での音響整備を行うことは検討しないのか。</p> <p>(2) 交響ホールの必要性が求められているが、建替えや場所を変えての建設について検討はしているのか。</p>	<p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
15	<p>石野 善司 6月16日(木) 10:45~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 敷地内ごみ放置実態について</p> <p>2 生活保護制度と若年者対策について</p>	<p>他人にとってごみと思える物が屋外玄関前に足の踏み場もないほど置かれ、また、玄関横にはビニール袋に入った物が軒下まで山のように積み上げられ、悪臭や害虫の発生、火災の恐れなど地域の安全を脅かすだけでなく、周辺住民の生活環境の悪化を招いている。</p> <p>(1) 所有者に対してどのような呼びかけ、連絡を行っているのか。</p> <p>(2) 効果的な対策が早急に必要だと考えるがどうか。</p> <p>(3) 適正な管理や処分を行う条例設置の考えは。</p> <p>生活保護はセーフティネットの最後の砦であり、生存権を守るためには必ず維持していかなければならない最も重要なシステムである。生活保護制度自体は国の制度であり、支給の決定に関しては基礎自治体の権限である。</p> <p>(1) 本市の生活保護受給世帯のうち、最も低い受給額は。</p> <p>(2) 諸々の加算を加えて最も高い受給年額は。</p> <p>(3) 保護受給者の年代別構成は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 セーフコミュニティ、安全・安心のまちづくりの実践について</p>	<p>(4)生活保護の対象となることで減免、あるいは免除の対象となる可能性がある公の制度に関してはどのようなものがあるか。</p> <p>(5)生活保護の対象とならない場合に負担しなければならない、その制度の最低の年額はいくらか。</p> <p>(6)生活保護の対象になることによって減免、あるいは免除の対象となる民間の制度にはどのようなものがあるか。</p> <p>(7)生活保護の相談から申請、受給の決定、更新というサイクルの中で、本市はどのような役割を担い、どの部分において責任を負うのか。</p> <p>(8)不正受給の防止のためにどのような措置を講じているのか。</p> <p>(9)就労支援プログラムによる生活保護からの自立支援で、参加条件のうち、就労意欲があるということは、どのような意味を指しているのか。</p> <p>(10)昨年度、就労支援者のうち、就労に結びついて生活保護から自立された人は何名か。</p> <p>(11)若者向けの就労支援プログラムを組むべきであると思うがどうか。</p> <p>(12)本市のケースワーカーを若年者に厚く配置させるべきだと思うがどうか。</p> <p>(13)今後の展望は。</p> <p>平成25年2月23日にセーフコミュニティの再認証を取得し、さらなる安全・安心のまちづくりを、国内はもちろん世界に向けて発信したところであるが、亀岡市の交通死亡事故ゼロの記録が本年2月、連続840日でストップした。また、悪質な自転車運転者に安全講習を義務付ける改正道交法の施行後1年が経過し、巡回は強化され、摘発は1万件を超えたが、悲惨な事故は後を絶たない状況である。</p> <p>(1)本市での自転車事故の現状は。</p> <p>(2)自転車利用者へのルール順守と指導啓発の徹底の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
16	<p>奥野 正三 6月16日(木) 11:30~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 広域幹線道路の整備について</p> <p>2 水害対策について</p>	<p>本市を通る国道、とりわけ西部地域に関わる国道を含めた周辺各幹線道路の整備と、今後の進捗状況について問う。</p> <p>(1)国道423号について、現状と今後の方向は。</p> <p>(2)国道372号(八田方面)の工事の進捗状況は。</p> <p>(3)国道477号の位置付けと、通行車両に伴う問題についての認識は。</p> <p>(4)府道宮前千歳線、鳴滝工区の拡幅工事の今後の計画は。</p> <p>(5)国道372号柿花診療所の一部狭くなっている箇所現状と今後の見通しは。</p> <p>(6)府道天王亀岡線、本梅町井手地区の拡幅工事後の舗装工事計画は。</p> <p>梅雨の時期となり、集中豪雨による水害対策について問う。</p> <p>(1)台風による大路次川・千ヶ畑川・本梅川の被害に対する対応は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 スポーツ施設の整備について	<p>(2) 本梅川の中野大橋からJ A京都亀岡西部支店の間の両岸の整備と、今後の水害を予想し、防止する対策が必要と考えるが、どうか。</p> <p>本市のスポーツ施設の一つである、月読橋球技場は各種競技団体をはじめ、多くの市民が利用されている。その中で施設に問題点もあり整備が必要と考える。</p> <p>(1) 水洗トイレの設置、増設の考えは。</p> <p>(2) 球技場周辺の防球ネット及び支柱の補強の考えは。</p> <p>(3) 水はけ、雑草等に対する対策が必要と考えるが、どうか。</p>	市長 所管部長
17	小川 克己 6月16日(木) 13:30~  一括	<p>1 市長のチャレンジビジョンの実現について</p> <p>2 防犯カメラの設置について</p> <p>3 通学路の安全対策について</p>	<p>かめおか・未来・チャレンジビジョンに掲げられている「選ばれるまち・住み続けたいまち・新たな亀岡市の実現」について、市長の目指すまちとはどのようなものなのか。</p> <p>(1) 「選ばれるまち」として、市長の考える「選ばれるまち」の魅力は何であると考えているのか。</p> <p>(2) 「住み続けたいまち」として、市長の考える「住み続けたいまち」の魅力は何であると考えているのか。</p> <p>(3) 「新たな亀岡市の実現」に向け、どのようなことをめざし取り組んでいこうと考えているのか。</p> <p>過去、池田市や寝屋川市において悲惨な事件が発生し、その後、学校では登下校の見守りや様々な安全対策が進められてきた。防犯カメラは、犯罪抑止や犯罪捜査・検証に大きく活躍すると考える。</p> <p>(1) 小・中学校の防犯カメラの設置状況は。</p> <p>(2) 今年度の設置予定と今後の方向性は。</p> <p>通学路の安全対策については、路面標示やカラー化等による明示なども進められてはいるが、危険な状況が未だに見られる。</p> <p>(1) 篠町安詳小学校区や詳徳小学校区で行われている速度規制やゾーン30による効果は。</p> <p>(2) 今年度の市道川関小林線の安全対策の予定や速度規制の考え方は。</p> <p>(3) 市道清草7号線の通学時間帯の車両通行規制についての考え方は。</p>	市長  所管部長  所管部長
18	酒井安紀子 6月16日(木) 14:15~  一問一答	1 投資の考え方とまちづくりの進め方について	<p>スタジアム用地買収にあたっては、様々な問題提起があり、大きなリスク要因の存在が明らかにされていたにも関わらず、それらへの対応が明確でないまま巨額の税が用地買収に投入されることとなった。その後、スタジアムをその用地に建設すべきではないという結論が出された。</p> <p>(1) どこに問題があったと考えているのか。</p> <p>(2) 新用地での建設について調整を始めているが、他の選択肢との比較検討の内容は。</p> <p>(3) スタジアム建設実現の前提となる条件は何であると考えているのか。</p> <p>(4) それらの条件が整わなかった場合を想定してい</p>	市長

			るか。 (5) 京都・亀岡保津川公園はどう整備するつもりか。 (6) スタジアムへの期待を前提とした後期基本計画をどう扱っていくのか。	
--	--	--	---	--